

2019年6月18日

トヨタ紡織株式会社

トヨタ紡織、米国テネシー工場を拡張

～米国のシートフレーム部品生産を集約し、最適生産体制を構築～

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：沼 毅）は、トヨタ紡織グループの米国生産子会社であるトヨタ紡織テネシーの工場を拡張しました。

トヨタ紡織テネシーは、シートフレーム部品の生産拠点として2001年に設立しました。今回の拡張は、トヨタ紡織グループの生産体制再構築の一環で、米国におけるシートフレームの主要プレス部品生産を集約し、今後の増産に対応するものです。拡張にあたり、2017年から3年間で約3,100万ドルを投資し、工場建設や生産設備導入を進めており、このたび竣工しました。

【トヨタ紡織テネシーの概要】

1. 社名 TOYOTA BOSHOKU TENNESSEE, LLC
2. 所在地 アメリカ テネシー州 ジャクソン市
3. 建屋面積 30,500㎡（既存17,200㎡、拡張13,300㎡）
4. 生產品目 シートフレーム機構部品

トヨタ紡織は、「世界中のお客様に最高のモビリティライフを提案し続ける会社」として、“QUALITY OF TIME AND SPACE” –より上質な時間や空間の提供を目指しています。今後も一層の最適生産・物流体制を整え、競争力を強化していきます。

以 上